

自分らしく働く

5月17日(火)
出前講座「男女共同参画社会」

菊池北中学校で出前講座「男女共同参画社会」が社会の授業を利用して開かれ、3年生の約120人が講義を受けました。

講座では、菊池市には男女共同参画推進条例があるということや、その条例に基づいた市の取組についての話などがあり、生徒たちはほとんど初めて聞く「男女共同参画社会」にしっかり耳を傾けていました。

未来を担う中学3年生が自分の将来を「性別にとらわれ過ぎず、自分らしく働く」という視点で考えてくれたらと思います。



菊池北中学校であった「男女共同参画社会」の出前講座

花のある生活を

5月23日(月)
JA 菊池管内の小・中学校へ花のプレゼント

JA 菊池青壮年部花卉研究会が菊池市内の中学校5校と小学校14校に花束をプレゼントしました。

教育委員会を訪れた同研究会々長の上田功さん(南古閑)は、木下教育長に「花のある生活を子どもたちに楽しんでもらい、花を好きになってほしいです」とスターチスやカスミソウ、カーネーションで作った花束を渡しました。

菊池市内でカスミソウを栽培している上田さんは「生花のよさを知ってもらい、花卉生産の振興になればと思います」と話されました。



木下教育長に花束を渡す上田さん(右)

もしもに備えて

5月21日(土) 防災ボランティア講習



専用のポリ袋に水を入れ、ご飯の非常食などを作る参加者

泗水公民館で防災ボランティア講習があり、女性の会(大島弘美会長)とむつみ会(山下臣子会長)の会員など約30人が参加しました。

日本赤十字社防災ボランティア代表の岡利恭さんから活動内容、災害時の支援方法などの講義があり、ポリ袋に1合分のお米で作る非常食や、油なしでも調理ができるカレーを作る炊き出しの演習も行いました。

各地で頻発する地震をはじめとして、様々な災害から家族を、そして地域を守るため、防災知識の必要性を強く感じて開かれた今回の講習に、受講した会員は真剣な表情で取り組んでいました。

気持ちよくプールを

5月25日(水)・26日(木)
菊池南中学校生徒がプール掃除



菊池市営プールの掃除をする菊池南中学校の生徒たち

菊池市営プールのオープンを前に菊池南中学校の1年生から3年生の男子生徒約240人がプール掃除をしました。

市民の皆さんへのボランティア活動と同校の体育の授業でこのプールを使用することから毎年この時期に行われているもので、生徒たちはデッキブラシなどでこびりついた汚れをこすり隅々まできれいにしました。

参加した生徒たちは「腰が痛いけど、みんなでするので楽しいです。市民の皆さんにも気持ちよく使ってもらいたいです」と汗を流しながら話してくれました。



旭志物産館出資組合の旭志牛の串焼き

5月28日(土) ホタルフェスタ in 旭志が小原グラウンドであり、県内外からたくさんの方々が家族連れや観光客などが訪れました。開会式で主催者を代表して福村市長が「合併後初めてとなるホタルフェスタが、ここ旭志で開催されることをうれしく思います。水環境を大切にすることが地球を守ることに繋がります。今日は環境のすばらしさも体験してください」とあい

「たぐさんのイベントや出店もあって楽しいです。近くの川であんなにたくさんの方々が来たのは初めてです」と話されました。会場には商工会や旭志青年団

さつ。特設ステージで旭志小学校の児童たちが「なまはたから」などを元気よく歌いイベントが始まりました。エンゼルストレッチの踊りやイロソジョビ合唱団の合唱、旭志少年少女合唱団の歌、ほたる娘の踊り、菊池雲上太鼓が次々と披露され、会場からは拍手が起きていました。



陸上自衛隊第8音楽隊の演奏

また、会場横の二鹿来川ではゲンジボタルの乱舞を、湯舟地区では無数のヒメボタルも見ることができ、訪れた人は幻想的な景色も一緒に楽しみました。このまつりは、ホタルが乱舞するこの時期にあわせて、毎年開催されています。

ホタルが織り成す コミュニケーション



たくさんの人で賑わう会場